

KAMOみーる KAWO首ーる

TOPICS
キッズサイエンススクール
小学生サマースクール
岐阜大学の現状
保育園たより

~ NEWS Letter ~ 15号 2011.9

岐阜大学キッズサイエンススクール2011 を実施

平成23年8月23日（火）に、「キッズサイエンススクール 身近な材料でキッチンサイエンス、いろいろおいしいマジック実験」を開催しました。これは、長期休暇中の学童保育の一環として行ったもので、本学に勤務する教職員の子どもとその保護者11名が参加しました。

午前中は、学内見学を行い、最初に訪れた柳戸農場では、細江重男技術専門員の説明の下、ヤギへのエサやりなどを体験しました。次に訪れた人間医工学研究開発センターでは、工学部の毛利哲也准教授から、手型ロボットのしくみについて説明を受けた後、実際に人間の動かす手と同様に俊敏に動くロボットを見学しました。学内見学の最後には、学長と面会し、子どもたちから「岐阜大学のいいところは？」などの質問が出されました。

午後からは、キッチンサイエンスと題し、キッチンにあるものを使って実験を行いました。紫キャベツを使った色の実験では、ろ紙に染み込ませた紫キャベツの汁に酢や石けん水など身近にあるものをふりかけたときに起こる色の変化を観察しました。色の变化したろ紙を思い思いの形に切り取るなど、子どもたちの楽しそうに取り組む様子が見られました。

最初は緊張した面持ちだった子どもたちも、時間とともに打ち解け、最後は笑顔で帰っていきました。



岐阜大学 キッズサイエンス スクール2011



「小学生サマースクール in 岐阜大学」を実施

平成23年8月25・26日に、医学部・医学部附属病院の職員の子どもを対象に「小学生サマースクール in 岐阜大学」を開催しました。これは、長期休暇中における小学生の学童保育を実施することで、小学生の子どもを持つ職員の就労を支援するとともに、お父さん・お母さんの職場の様子や仕事内容を、子どもたちが見学・体験できる場として行われたものです。

25日（木）には、「体を守る—護身術を学ぼう」と題し、岐阜県警察の方から不審者に襲われた際の具体的な対処法について学びました。「予防接種のお話」では、感染症とその予防法について勉強しました。1日目の最後には、「火なしで作れる食事作りを学ぼう。体にやさしい食事とは？クッキングスクール」を行い、チーズやハムを使ったおにぎりを作成し試食しました。

26日（金）には、「ドクターヘリ見学」を行い、子どもたちから「どのくらい遠くまで行けるの？」など沢山の質問が出されました。「卵からマヨネーズを作ろう」では柳戸農場の鶏舎から集めた卵を使ってマヨネーズ作りを体験しました。また、農場では野菜の収穫も行い、とれたての野菜を使ったピザを作成しました。子どもたちは自分たちで作ったピザをおいしそうにほおばっていました。「放射線のお話」では放射線量測定器を使い身近にも放射線があることを体験しました。「エコー体験、バイタルチェック」では、医師・看護師さんの指導の下、お互いの腹部のエコーを使った観察や血圧・脈拍の測定を行った他、人工血管を使いカテーテル治療も体験しました。子どもたちは、普段はなかなかすることのできない体験に興味津々の様子で取り組んでいました。



女性支援アドバイザーを3名の方に委嘱しました。

女性支援アドバイザーとは、学内の女性教職員および女子学生を対象に、女性支援アドバイザーとして登録された学外の女性支援に関わる女性専門職者が相談会での相談対応業務およびセミナーの講師を務めるものです。

最近なんとなく体がだるい、これって更年期障害？と感じたことや、仕事が忙しくて精神的にイライラして落ち着かないという経験をしていませんか。男女共同参画推進室では、このような例をはじめとして、様々なお悩みをお持ちの女性教職員および女子学生をサポートするために、女性支援アドバイザーの方を講師としてお招きし、セミナーの開催を予定しています。病院に行くほどではないけども気になる体調の変化や日常生活において経験するトラブルや心配事についての対処方法を専門の講師がわかりやすく解説してくれます。

今回、委嘱した方は次の3名です。

- ・廣瀬玲子 氏（医師）：岐阜県総合医療センター女性医療センター・女性外来担当部長
- ・寺本和佳子 氏（弁護士）：寺本和佳子法律事務所
- ・磯村有希 氏（臨床心理士）：名古屋市立八幡中学校スクールカウンセラー
岐阜大学保健管理センター ほか

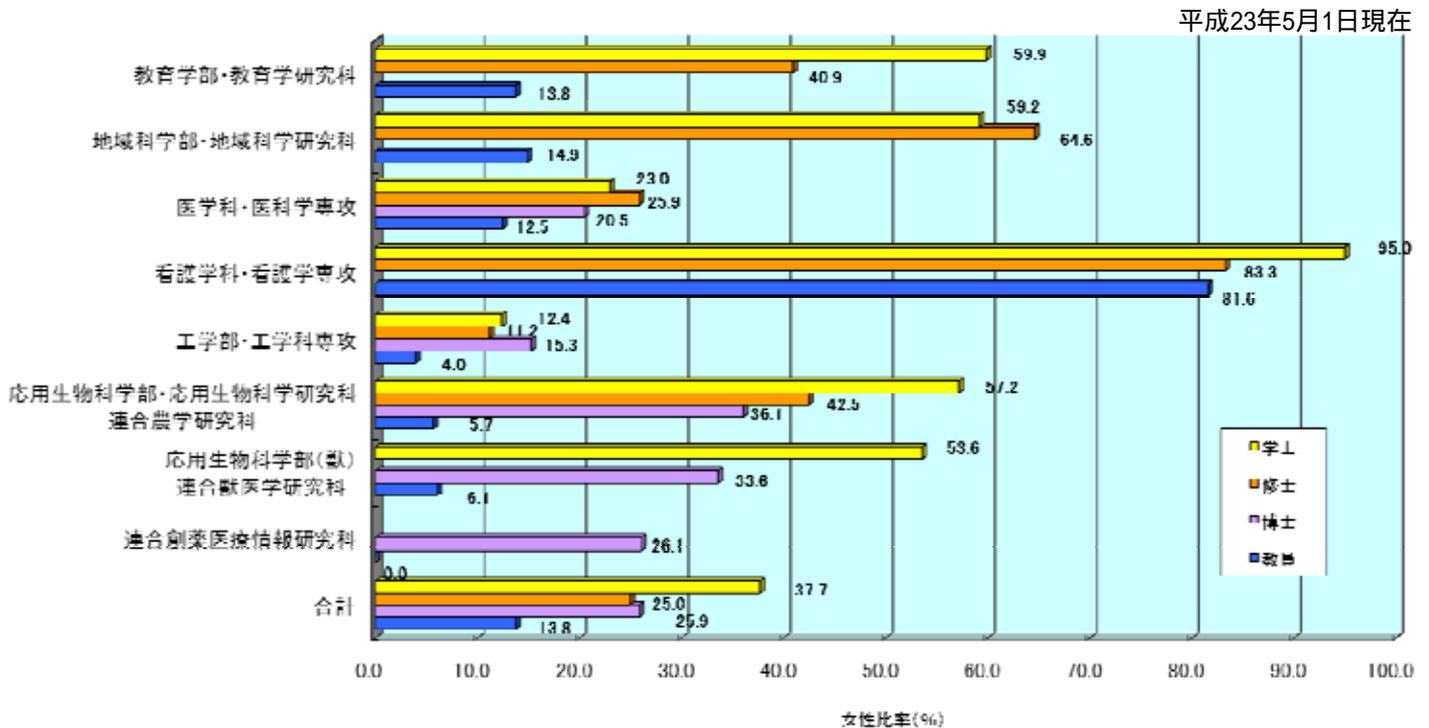
※企画の実施時期については、随時、NEWS LetterやHPでお知らせしますのでそちらをご確認ください。



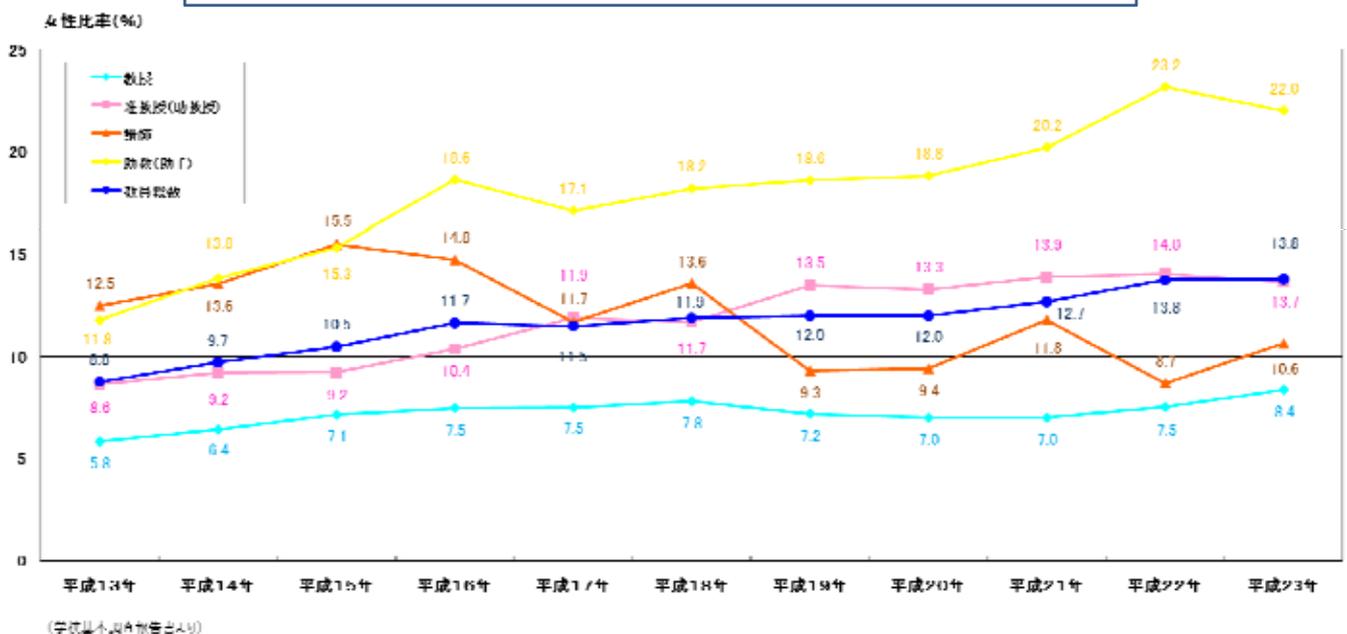
岐阜大学の現状

岐阜大学が男女共同参画を推進するための施策を実践する上で、本学の実状を把握しておくことは重要です。総務部人事労務課では、平成18年から、「岐阜大学の教職員・学生数に関する調査統計資料」をホームページ上(学内専用)に公開しています。本誌2号(平成22年8月発行)では、平成22年5月1日現在のデータをご紹介しました。今回は、平成23年5月1日現在のデータをご紹介します。

岐阜大学における女性教員、女子学生の分野別比率



岐阜大学における教員の職種別女性比率の推移



本学の女性教員比率は、平成22年13.8%→平成23年13.8%と横ばい。女性教員数は平成22年105名→平成23年104名と1名減でした。平成22年10月制定「岐阜大学男女共同参画行動計画」の「大学運営における意思決定への女性参画の推進」の項に、「ポジティブアクションを積極的に取り入れ、女性教員の比率向上を目指す。」と謳っています。その目標達成に向けて、具体的な施策の検討と実施が求められています。

お知らせ掲示板

ロールモデル講演会開催

一般に、女性研究者が少ない原因の一つに先輩となるロールモデルが少なく、なかなか将来像をイメージできないことがあげられます。そこで、男女共同参画推進室では、ロールモデルを提示するために、本大学出身で学内外の様々な分野で活躍する女性研究者を招き、女子学生を主な対象とした講演会を企画しました。講演会の開催に先立ち今年5月には、全教員の方々に、岐阜大学出身の女性研究者の推薦をお願い致しました。その結果、17名の女性研究者をご推薦いただきました。今回の講演会では、その中から3名の方をお招きし、これまでのキャリアパスや大学院で学んだことをどのように生かすことができるかなどについて講演をいただき、参加した女子学生が自身のキャリア形成について考える機会としたいと思います。また、進学に興味を持つ学部学生においても、女性研究者の多様なキャリアパスを聞くことにより、進路選択の一助となればと考えております。多くの学生の参加をお待ちしております。

女性研究者ロールモデル講演会(理系編) 岐阜大出身の先輩に学ぶ

日時：平成23年10月26日(水)
14:00~16:30

会場：工学部棟1階106教室(講演会)
工学部棟1階14教室(交流会)

講師：近藤麻実氏<北海道立総合研究機構環境科学研究センター>
(応用生物科学部 教授 鈴木正嗣先生よりご推薦)

長岡久美氏<名古屋国際特許業務法人>
(工学部 教授 北出幸夫先生よりご推薦)

加知千裕氏<東邦大学理学部>
(工学部 教授 海老原昌弘先生よりご推薦)

内容：これまでのキャリアパス(なぜ現在のポストを選んだのか、どのようにして現在のポストを得たのか、現在のポストに就くきっかけとなった出来事など)、大学院で学んだことが現在のポストでどのように生かされているか、ワークライフバランスに向けての工夫などについてお話し頂きます。

講演後、交流会を開催します。交流会では講師の方と自由にお話しすることが出来ます。
岐阜大出身の先輩方の経験を聞いてみませんか？

理系女子大学院生対象アンケート回収期限延長のお知らせ

男女共同参画推進室からアンケート用紙が届き、まだお手元にある方は、期限を10月11日(火)まで延長いたしましたので、是非ご協力をお願いいたします。

学内保育園
「ほほえみ」

白鳥組

和紙染めに挑戦

8月29日(月) 本学教育学部の辻泰秀教授と美術教育講座3年生の学生2名が「ワークショップ」の一環として、学内保育園「ほほえみ」白鳥組の園児11名に和紙染めを指導しました。園児たちは、自分たちで折った白い和紙に思い思いの絵の具で色を付け、オリジナル色紙の作成に挑みました。

岐阜大学男女共同参画推進室(人事労務課男女共同参画係) URL: <http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/>
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel: 058-293-3378 Fax: 058-293-3396 E-mail: sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は男女共同参画推進室へお願いします。